

令和5年7月27日(木)
第3回地域懇話会 資料



県立広島病院の跡地活用の 方向性について

令和5年7月

広島県 健康福祉局 医療機能強化推進課

はじめに

広島県では、医療機関の機能分化・連携により、患者の状態に応じた切れ目のない医療を提供する地域完結型医療の考え方のもと、高度な医療や様々な症例を集積する1,000床規模の新病院を整備することで、全国から意欲ある若手医師を惹き寄せ、医育機関との連携・協働により、医師不足の地域に医師を派遣すること、また、急性期医療に係る医療資源を集約することで、救急患者の応需率を高めるとともに、災害時や感染症拡大時に迅速かつ適切に医療サービスが提供できるよう、医療体制を強化することを目指して、令和4（2022）年11月に「高度医療・人材育成拠点構想」を策定しました。

この構想においては、土地の制約や交通利便性等を考慮して、新病院の予定地を東区二葉の里地区としており、現在の県立広島病院（南区宇品神田）は、令和12（2030）年度を目途に新病院に移転・統合することを検討しています。

こうしたことから、広島県では、病院の再編による影響が予想される地域においても安心して暮らし続けることができるよう、地域の代表者や地区医師会長等で構成する地域懇話会でのご意見や住民アンケート調査の結果を踏まえて、県立広島病院の移転後の医療体制を含む土地の活用策の方向性について整理しました。

目次

対象地と地域の基礎情報	4
地域懇話会の意見	10
住民アンケート	14
民間事業者からの意見	27
県立広島病院跡地活用の方向性（案）	29



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

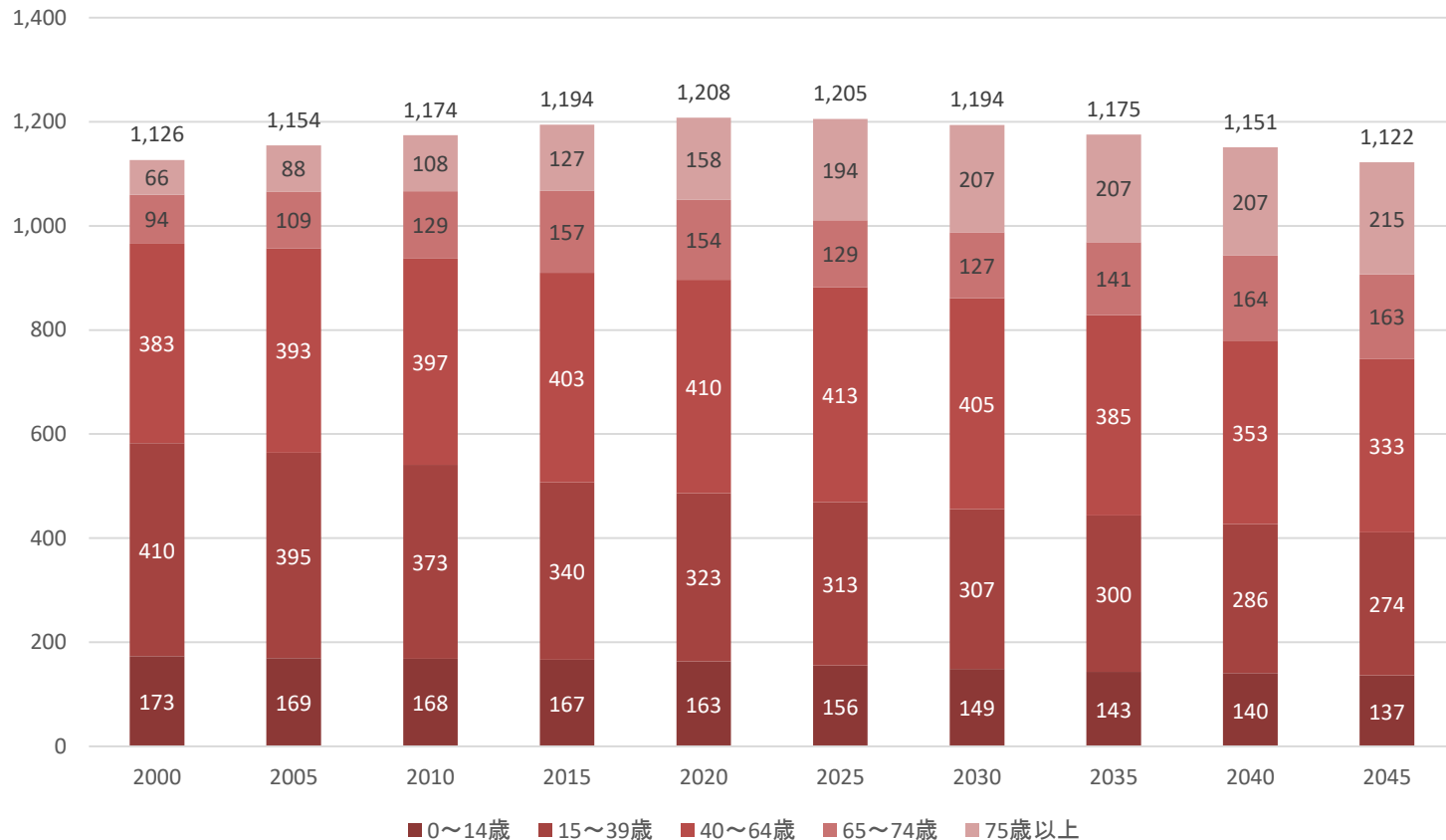
対象地と地域の基礎情報

対象地と地域の基礎情報

階層別の人口推計（広島市）

広島市の総人口は2020年頃をピークに緩やかに減少するが、医療需要の高い高齢者については増加する推計となっている。特に75歳以上の後期高齢者の増加が大きい推計となっている。

総人口
(千人)



■ 2020→2045年

	増減数	増減率
0～14歳	-27	-16.4%
15～39歳	-49	-15.1%
40～64歳	-76	-18.7%
65～74歳	9	5.9%
75歳以上	57	36.5%
総人口	-85	-7.1%

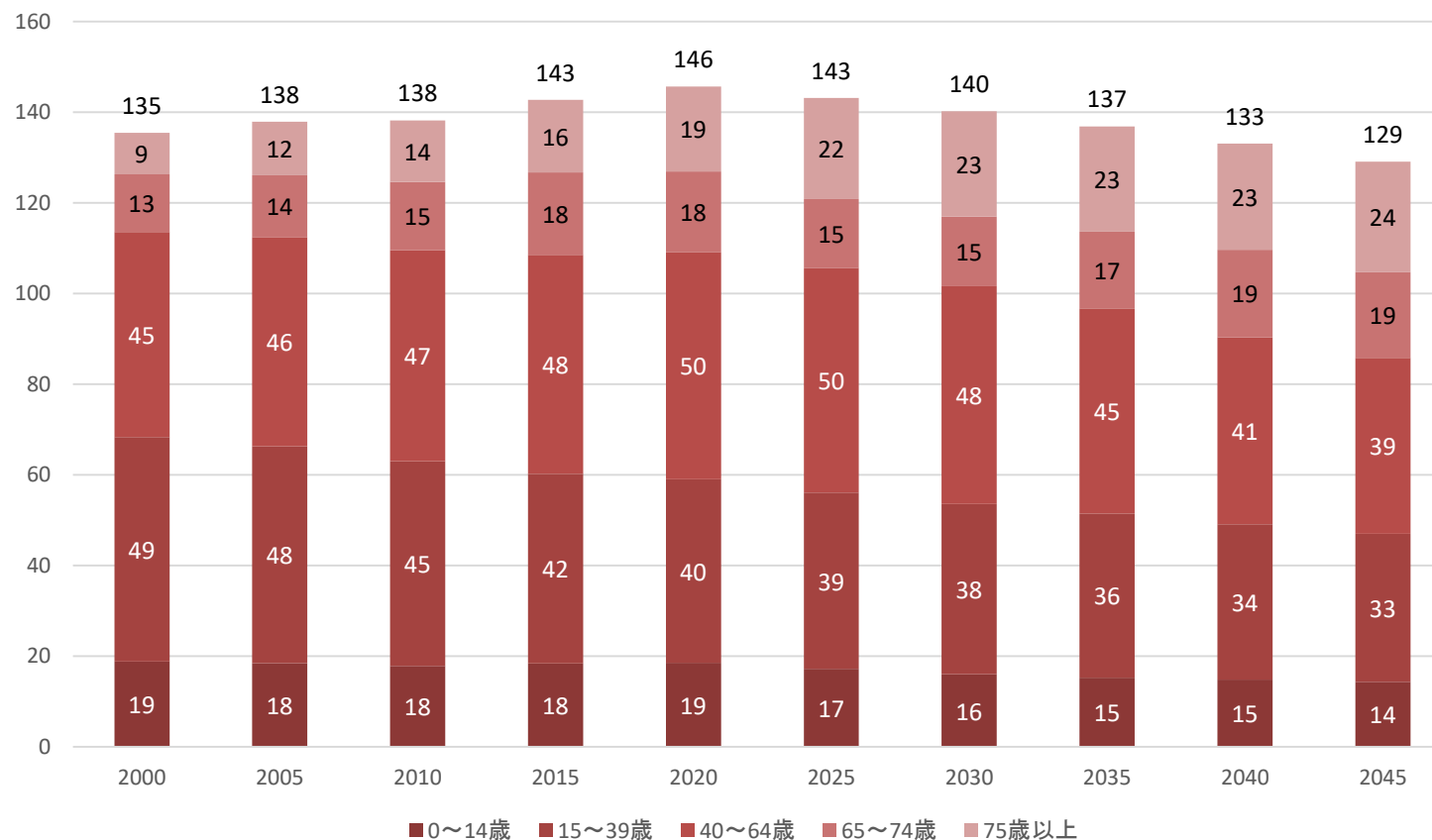
出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

対象地と地域の基礎情報

階層別の人口推計（南区）

南区においても広島市全体と同様の推計となっているが、広島市全体に比べ高齢者の増加は緩やかとなっている。一方で年少人口や生産年齢人口の減少を要因に総人口の減少率は広島市以上となっている。

総人口
(千人)



■ 2020→2045年

	増減数	増減率
0~14歳	-4	-22.7%
15~39歳	-8	-19.4%
40~64歳	-11	-22.5%
65~74歳	1	6.1%
75歳以上	6	30.2%
総人口	-17	-11.4%

出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

対象地と地域の基礎情報

- 周辺の新築分譲（予定含む）マンションなど

No.	名称	所在地
1	ヴェルディ・タワーヴィレッジ宇品	広島市南区宇品東6丁目
2	ヴェルディ天神川駅前	広島市南区大洲4丁目
3	ブランシエラ広島	広島市南区西蟹屋3丁目
4	ライオンズ東翠町	広島市南区西旭町
5	ヴェルディ・ザ・タワー宇品	広島市南区宇品西5丁目
6	ソシオ段原	広島市南区段原1丁目
7	コンサルティングスクエア宇品御幸	広島市南区宇品御幸4丁目
8	ポレスター東雲	広島市南区東雲2丁目
9	ポレスター東雲レジデンス	広島市南区東雲2丁目



出所：各施設HP（2023年2月時点）、ひろしま地図ナビ

対象地と地域の基礎情報

対象地概要（1/2）

対象地は、JR広島駅の南方約3.5km（直線）に位置し、東側には県立広島大学広島キャンパスが隣接している。また県立広島大学広島キャンパスの南側に職員駐車場を設置している。敷地面積は、県立広島病院敷地が25,325.30㎡、職員駐車場敷地が1,675㎡となっている。

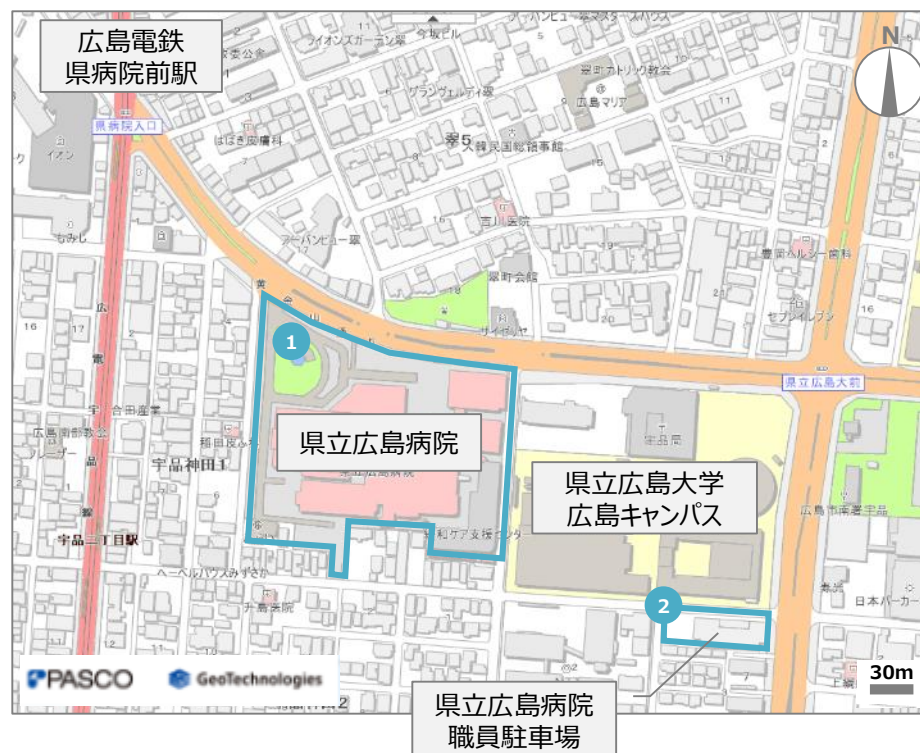
① 県立広島病院敷地

所在地	広島県広島市南区宇品神田1丁目5-54
敷地面積	25,325.30㎡
地目	宅地ほか
交通アクセス (公共交通)	広島電鉄「県病院前」駅下車 徒歩3分 まちのわろーぷ「県病院前」バス停下車 徒歩1分
交通アクセス (自動車)	広島高速2号線仁保ICより約8分 広島高速3号線宇品ICより約3分

② 職員駐車場敷地

所在地	広島県広島市南区宇品東1丁目3-3
敷地面積	1,675㎡
地目	雑種地

■ 位置図



出所：県立広島病院HP、ひろしま地図ナビ

対象地と地域の基礎情報

対象地概要 (2/2)

対象地内には、病院施設として7棟の既存建物があり、その他に保育所施設が南西角に設置されている。

■ 既存建物概要

建物名称	用途	構造	建築年	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)
中央棟	外来・検査・病棟等	S造8階建	H7年	6,003.37	36,136.68
南棟	病棟等	SRC造7階建 (一部RC造)	S47年	1,632.52	10,446.15
東棟	放射線科、厨房、手術室	RC造3階建	S53年	1,699.53	6,688.25
管理棟	委員長室、総務課、医局、会議室等	RC造5階建	S60年	596.75	2,846.96
北棟	カルテ庫、管財課、図書室、会議室、控室、講堂等	RC造5階建	S43年	913.86	4,426.71
新東棟	緩和ケアセンター等	S造3階建	H16年	1,449.74	4,087.54
ガバナー室	都市ガス制圧器	RC造1階建	S52年	79.58	79.58

■ 配置図





元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

地域懇話会の意見

地域懇話会における意見

● 地域懇話会

医療機関再編による影響が予想される地域への対応方針や移転決定後の県立広島病院の土地活用の方向性を検討するに際して、地域住民や有識者などから幅広く意見を聴取することを目的として、「地域懇話会」を令和5年3月から7月にかけて開催した。地域懇話会における主な意見は以下のとおり。

【地域からの意見】

項目	内容
県立広島病院移転後の医療提供体制について	<ul style="list-style-type: none"> ● 新病院構想自体は賛成である ● 南区にも救急体制が整った病院を残してほしい ● 例えば、安佐医師会病院のように、宇品の地には県立広島病院の分室のような医療機関を残してほしい ● 今の県立広島病院と同じ形でなくても、何かしらの医療機能は残してほしい ● 2週間ぐらい入院できる療養型の施設を望む方もいる ● 地域に存在する病床の機能のバランスを踏まえて、移転後の医療体制及び宇品に残すべき医療機能を検討してほしい

【有識者からの意見】

- 今後は回復期がより重要になってくる
- 高度医療・人材育成拠点基本構想の実現によって良い影響と悪い影響が生じるが、いかにして悪い影響を最小化させるか考えながら、必要な医療機能について検討が必要
- 県立広島病院移転後に残す医療機能を考えるうえで、医療従事者の声にも耳を傾けることが必要
- 広島市内の既存の医療資源を把握したうえで、県立広島病院が移転した場合の影響について分析が必要
- 残す病床を0%か100%かで論じるのではなく、その中間の選択肢も考慮に入れるべきではないか。

地域懇話会における意見

地域懇話会委員名簿

(敬称略、五十音順)
【令和5年2月～令和5年7月】

氏名	所属
和田 高明	中区社会福祉協議会会長
吉澤 秀雄	中区公衆衛生推進協議会会長 袋町地区社会福祉協議会会長
桑野 富貴生	南区公衆衛生推進協議会会長 南区社会福祉協議会会長
佐々木 宏文	皆実学区社会福祉協議会会長
市川 宏	
岩本 起喜	楠那学区社会福祉協議会会長
佐藤 勝美	宇品東連合町内会会長
神出 恭子	大河学区社会福祉協議会会長
長瀬 充良	宇品東社会福祉協議会会長
中原 健治	宇品西地区社会福祉協議会会長
渡辺 好造	翠町学区社会福祉協議会会長

氏名	所属
田邊 徹行	一般社団法人広島市中区医師会長
半田 徹	一般社団法人広島市南区医師会長
岡谷 光展	広島市中区副区長
奥野 博文	広島市中保健センター長
岡崎 智博	広島市南区副区長
川上 淳一	
平本 恵子	広島市南保健センター長
久保 達彦	広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学教授
渡邊 一成	福山市立大学都市経営学部教授
河村 寛	中電病院 顧問
板本 敏行	県立広島病院 院長

地域懇話会における意見

・ 地域懇話会の開催状況

懇話会を開催し、「高度医療・人材育成拠点基本構想」に示された医療機関再編に伴い、その影響が予想される地域への対応や県立広島病院の土地活用の方向性について、地域の意見をお伺いした

回	日程	会議内容
1	令和5年3月24日	<ul style="list-style-type: none"> 「高度医療・人材育成拠点基本構想」について 医療機関再編による影響について
2	令和5年6月1日	<ul style="list-style-type: none"> 第1回の地域懇話会で出た質問に対する回答 <ul style="list-style-type: none"> ①医師確保に関するこれまでの取組 ②救急医療体制の強化に関するこれまでの取組 ③病院再編統合の事例紹介
3	令和5年7月27日	<ul style="list-style-type: none"> 県立広島病院の土地活用の方向性について
4	令和5年8月24日	



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

住民アンケート

アンケートによる意見

・ 住民へのアンケート調査

県立広島病院移転後の地域の医療体制や土地の活用策について検討するため、幅広く意見を聴取する目的で住民を対象にアンケート調査を実施した。対象者、調査内容、実施時期については以下のとおり。

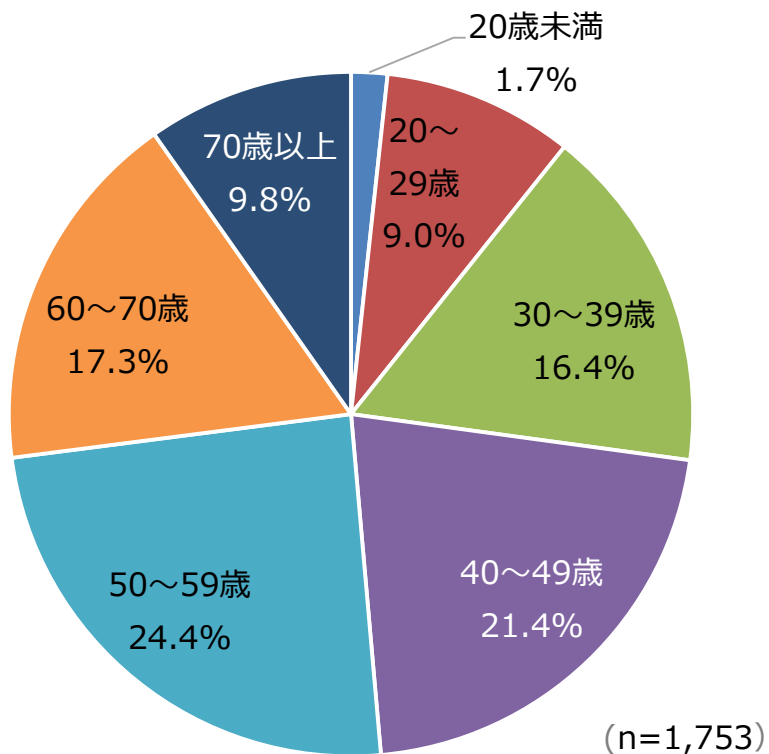
対象者	実施方法	回答数 (うち南区居住者の回答数)
広島市南区を中心とする 県内居住者	・ インターネット調査会社のモニター会員を対象としたインターネット調査	1,537 (474)
その他	・ 紙媒体による調査票を県立広島病院、南区役所、南区内の公民館（7か所）に配架	216 (141)
計		1,753 (615)

調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立広島病院移転が検討されていることへの認知度 ・ 県立広島病院が移転した場合に必要な医療環境 ・ 県立広島病院周辺のまちづくりの観点からの課題（移転した場合にどのような環境となることを望むか） ・ 県立広島病院が移転した場合に生活に与える影響 など <p>※ 「高度医療・人材育成拠点」（新病院）のねらい、整備概要、Q & Aをわかりやすく説明したリーフレットを添付。</p>
------	--

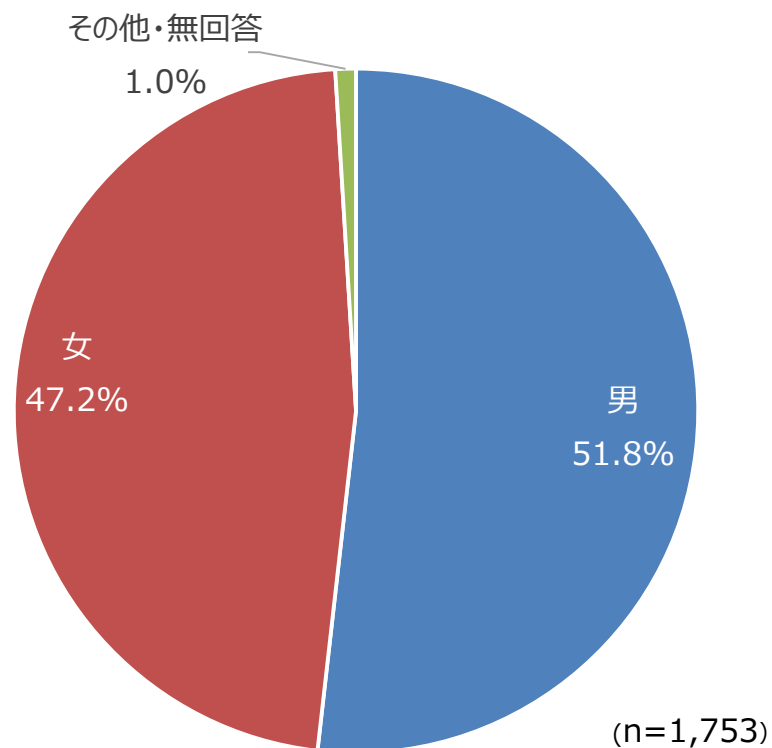
実施時期	<p>(インターネット調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年6月5日（月）～7日（水） <p>(紙媒体調査票による調査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年6月2日（金）～16日（金）
------	--

アンケートによる意見

年齢



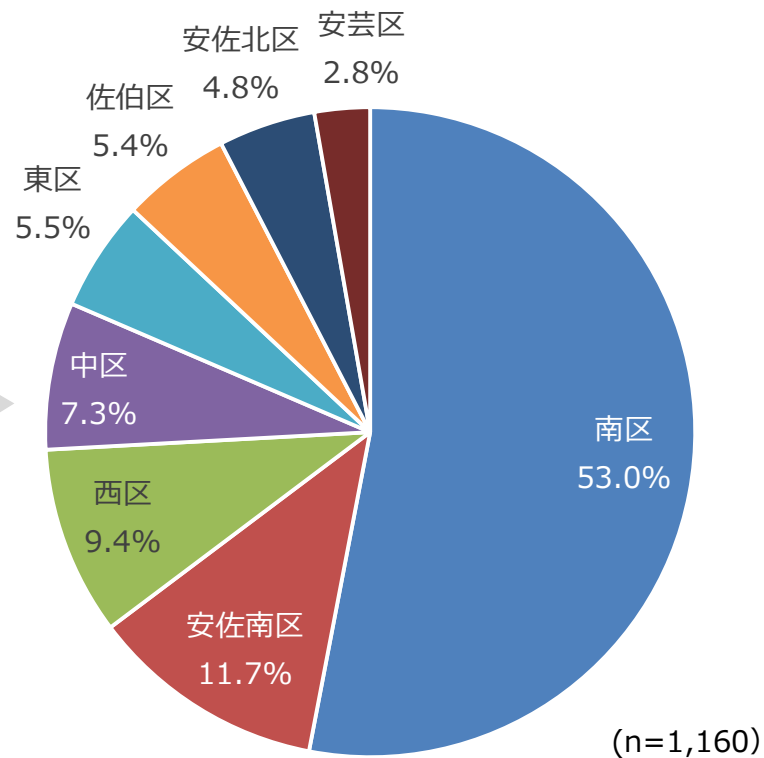
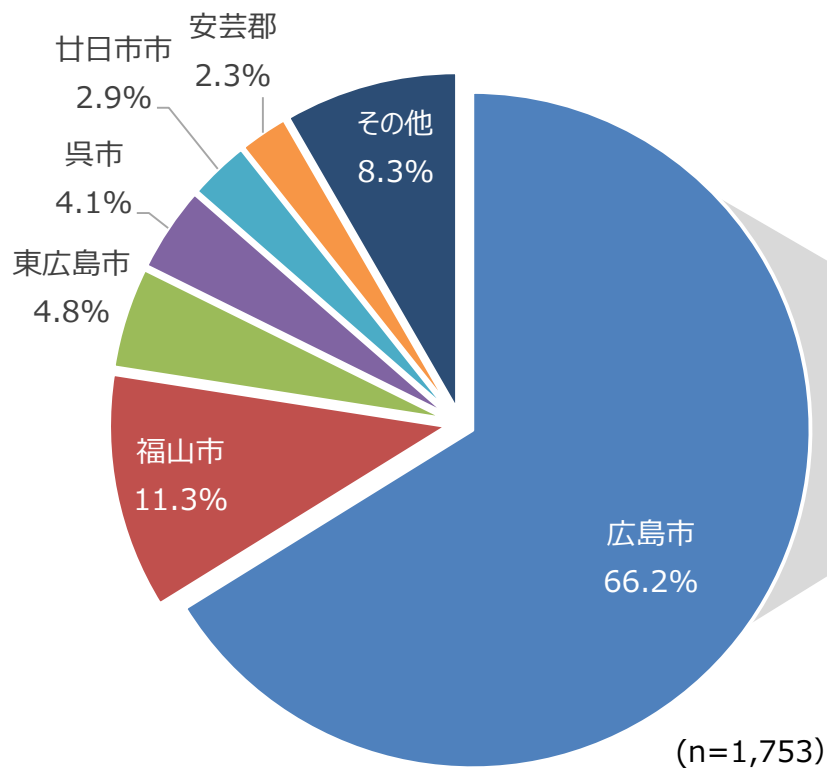
性別



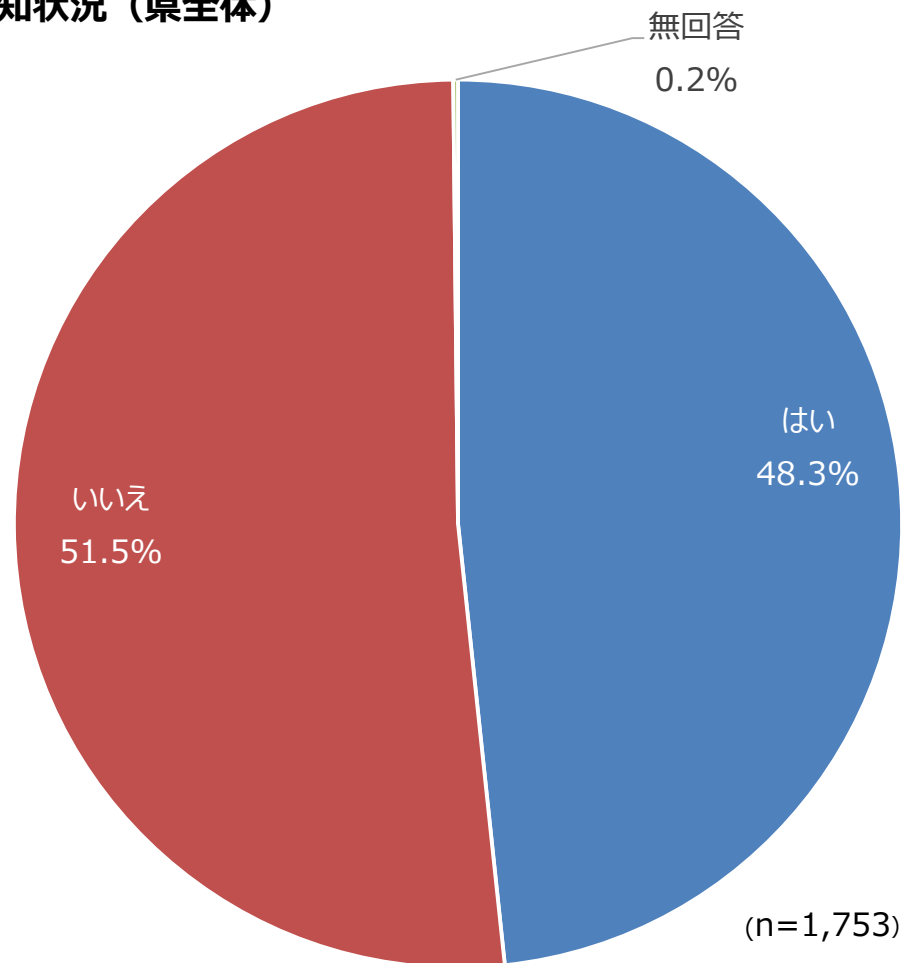
※四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある（以下同様）

■ 回答者属性

居住地

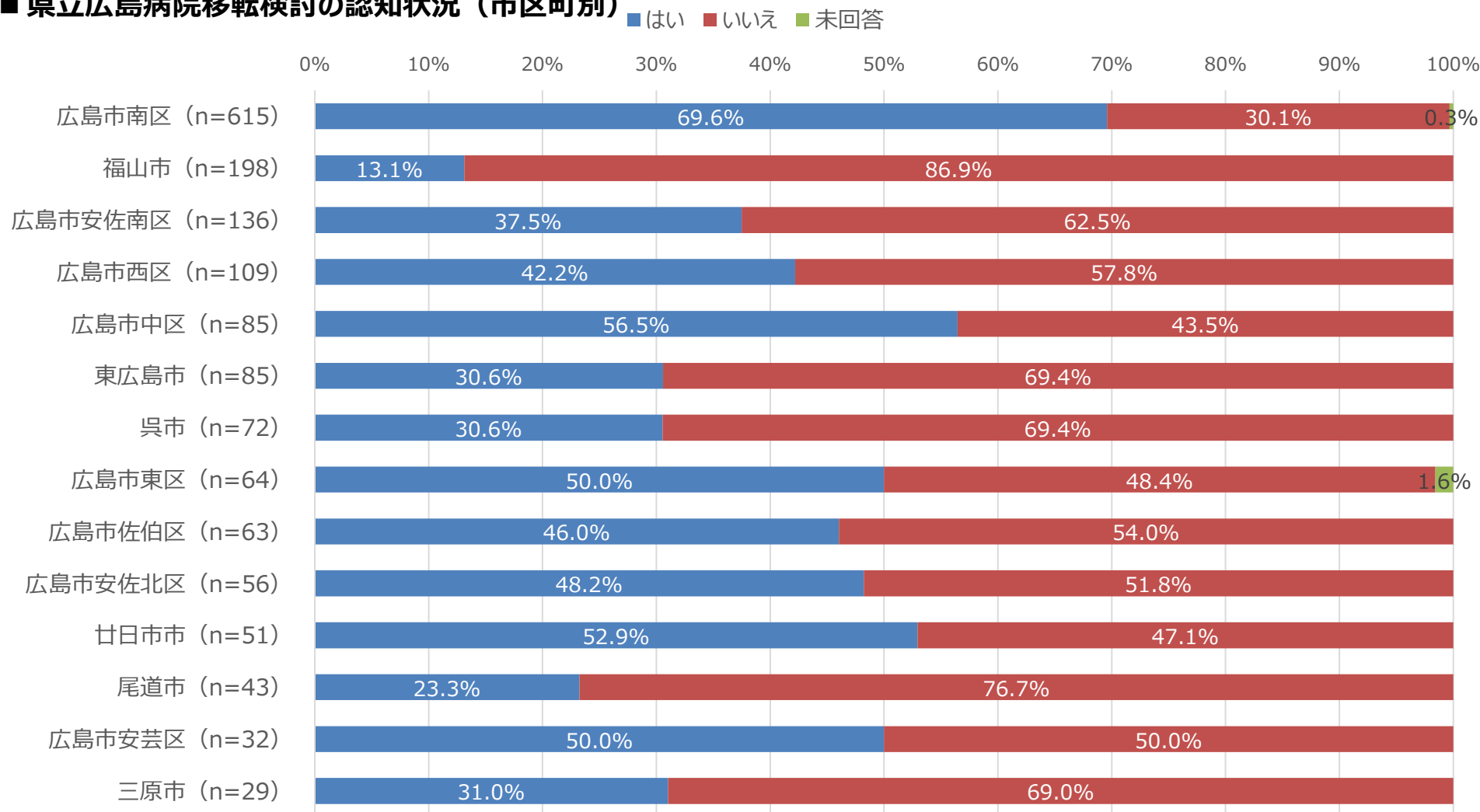


■ 県立広島病院移転検討の認知状況（県全体）



アンケートによる意見

■ 県立広島病院移転検討の認知状況（市区町別）

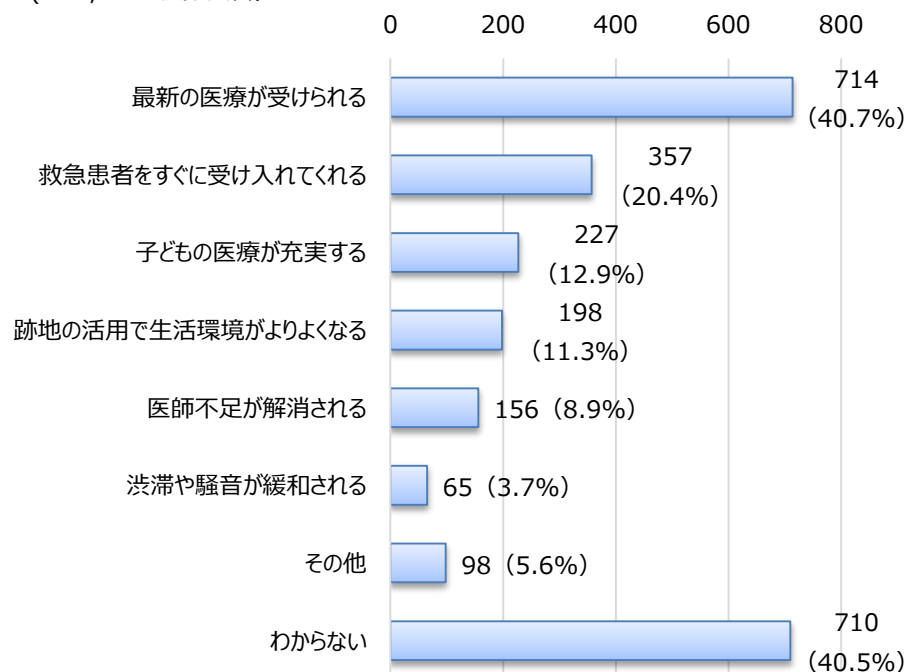


(注) 20以上の回答があった市区町のみ抜粋して掲載

■ 新病院構想の影響

良い点 (全体)

(n=1,753、複数回答)



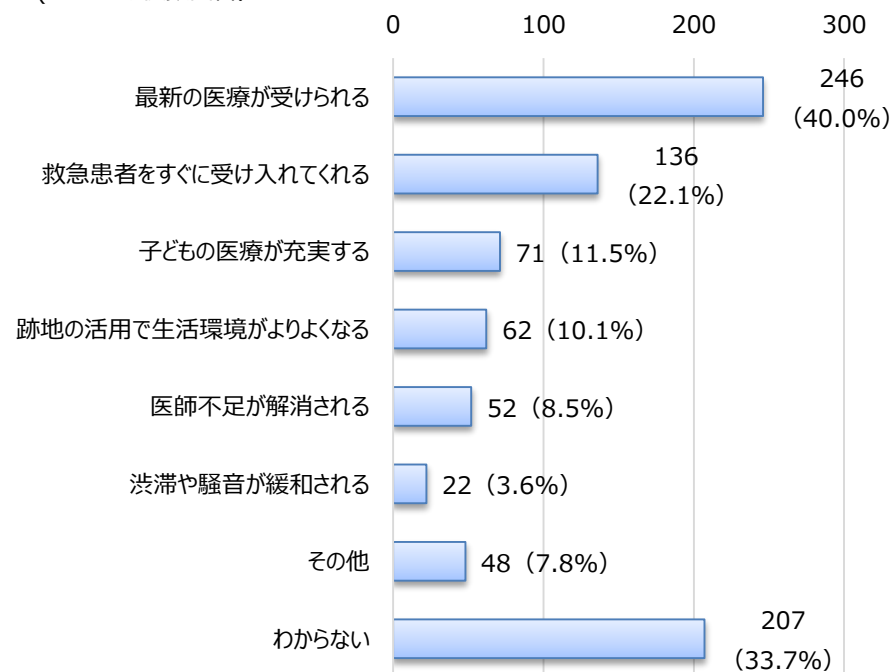
※ () は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答 (抜粋)】

- 宇品より近くなって利用しやすそう。
- 検査のために他の病院へ行くといったスポット的なものがなくなり、1か所で全部診てもらえるようになる。

良い点 (南区)

(n=615、複数回答)



※ () は母数に対する回答数の割合を示す。

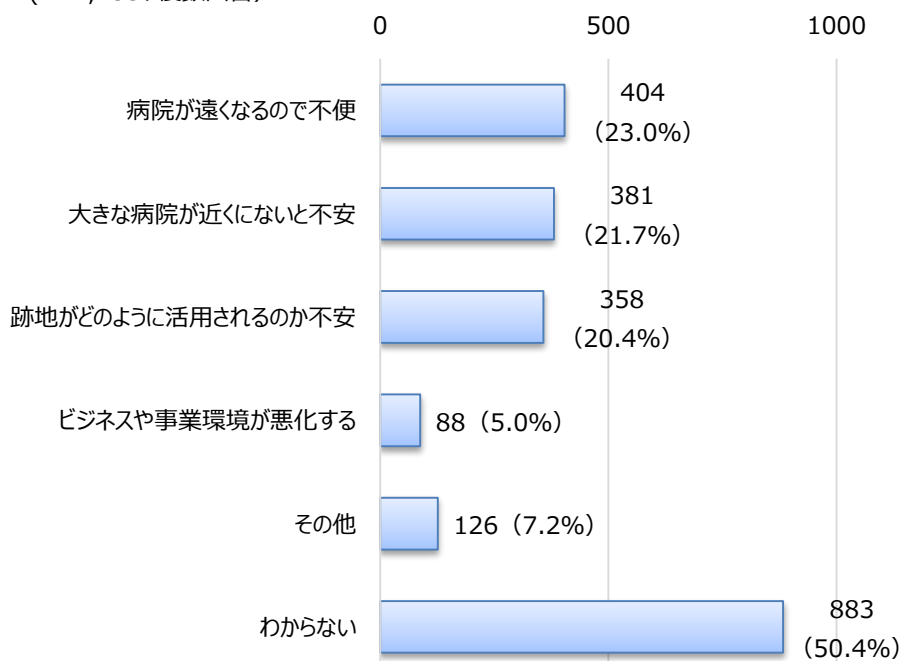
【その他の回答 (抜粋)】

- 南海トラフ対策としては効果的

■ 新病院構想の影響

心配される点（全体）

(n=1,753、複数回答)



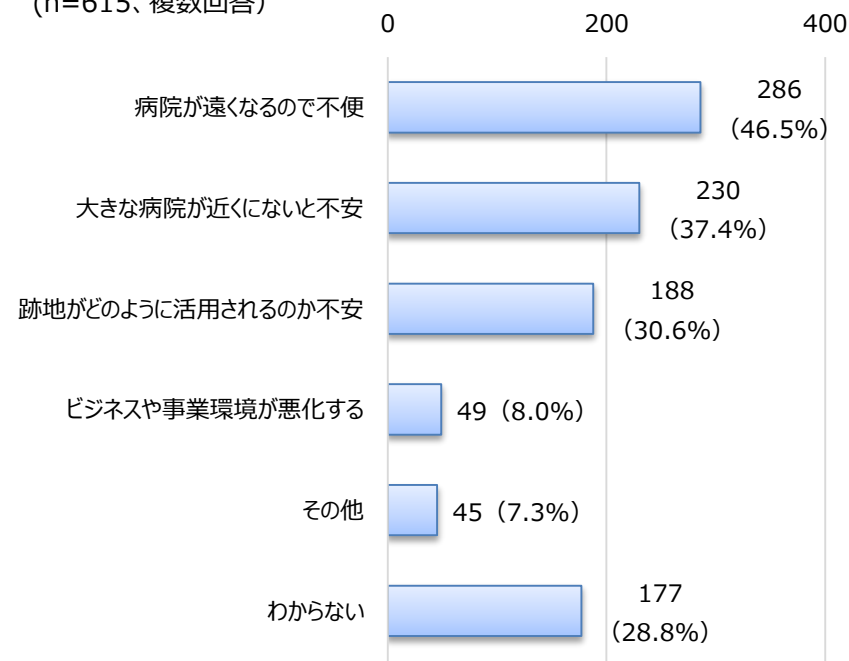
※ () は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答（抜粋）】

- 駅周辺の混雑や、患者の待ち時間の延長、場合によっては通院のしづらさが出ると思う。
- 慣れた病院がなくなると困る。

心配される点（南区）

(n=615、複数回答)



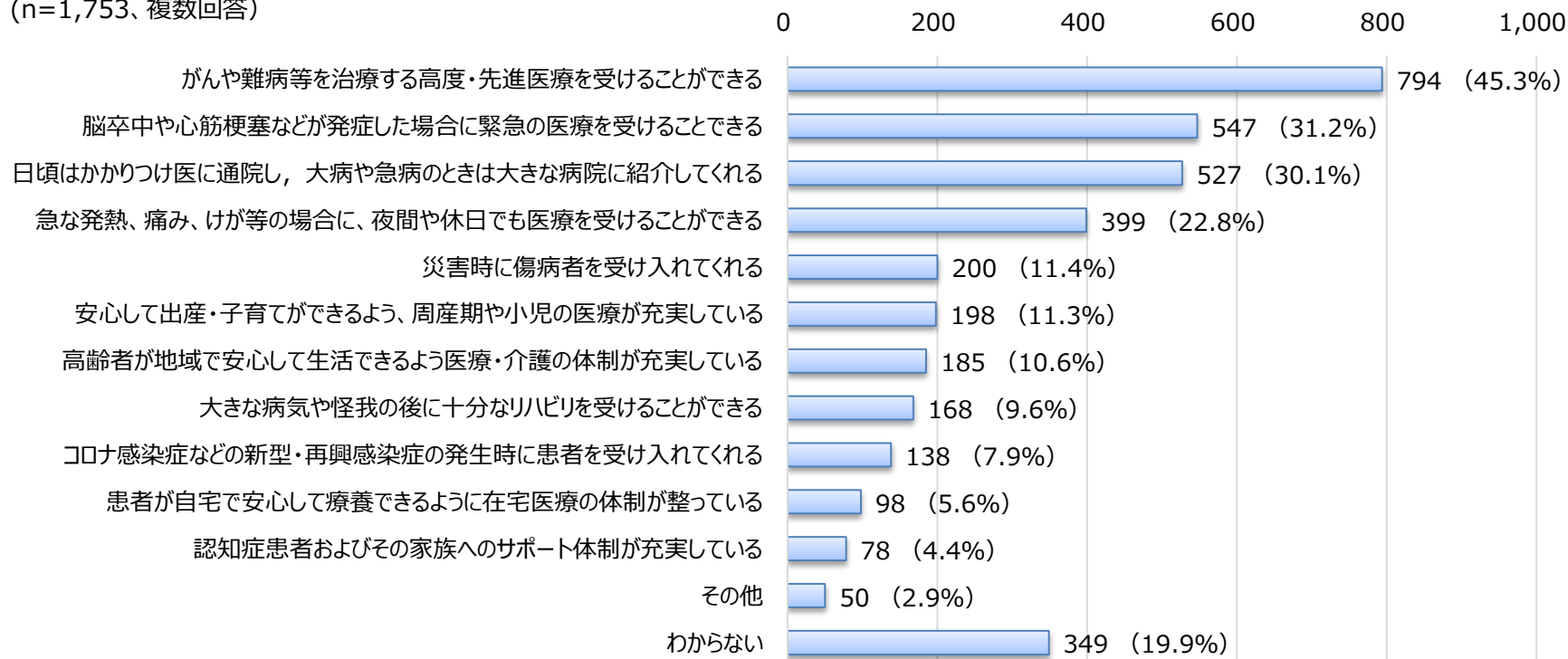
※ () は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答（抜粋）】

- 南区及び島しょ部からは非常に不便。
- 県立広島病院で長年治療を受けている人は、同じ治療がどこで受けられるのか不安。

■ 県立広島病院移転後に望まれる医療環境（全体）

(n=1,753、複数回答)



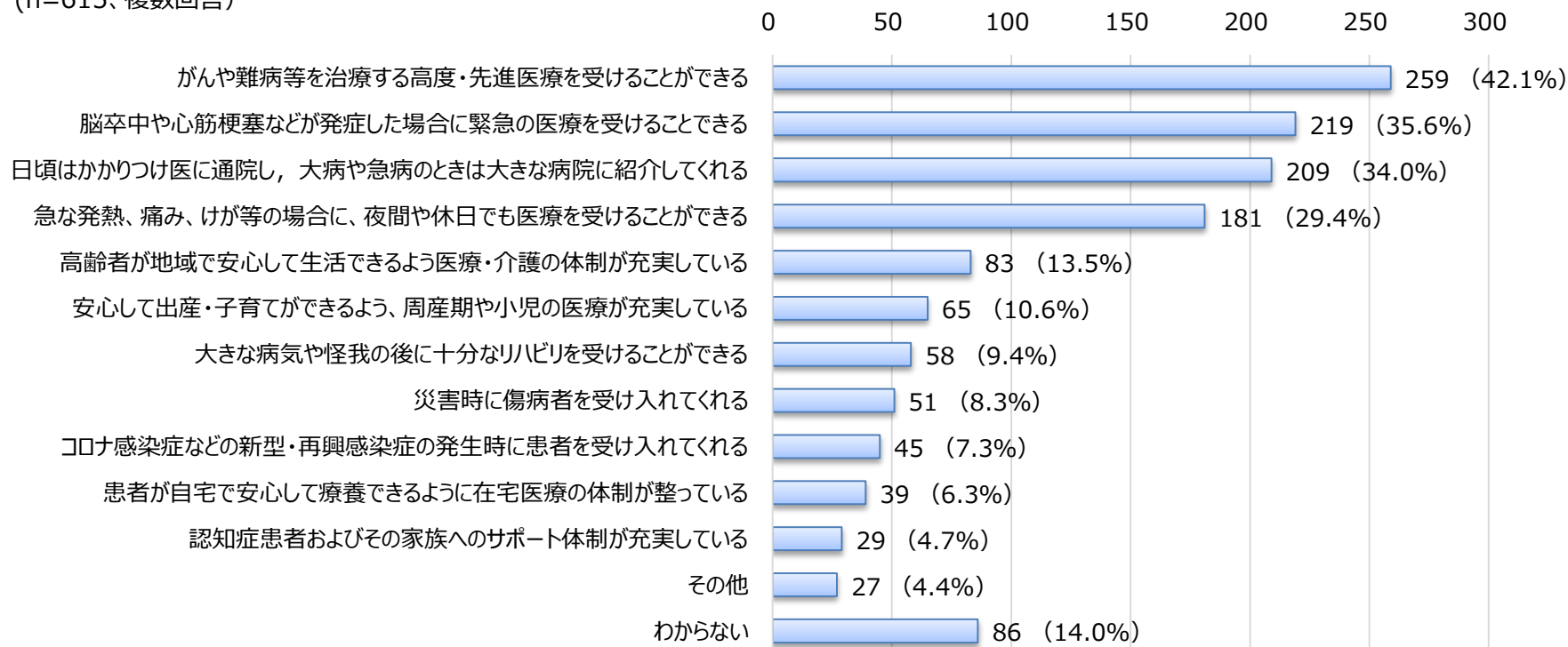
※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答（抜粋）】

- 必要な経過観察がこれまで同様に継続的に受けられる。
- 肺炎、骨折、脳梗塞、心不全、腹痛、熱中症、けがなどの普通の病気やけがで入院治療が出来る。

■ 県立広島病院移転後に望む医療環境（南区）

(n=615、複数回答)

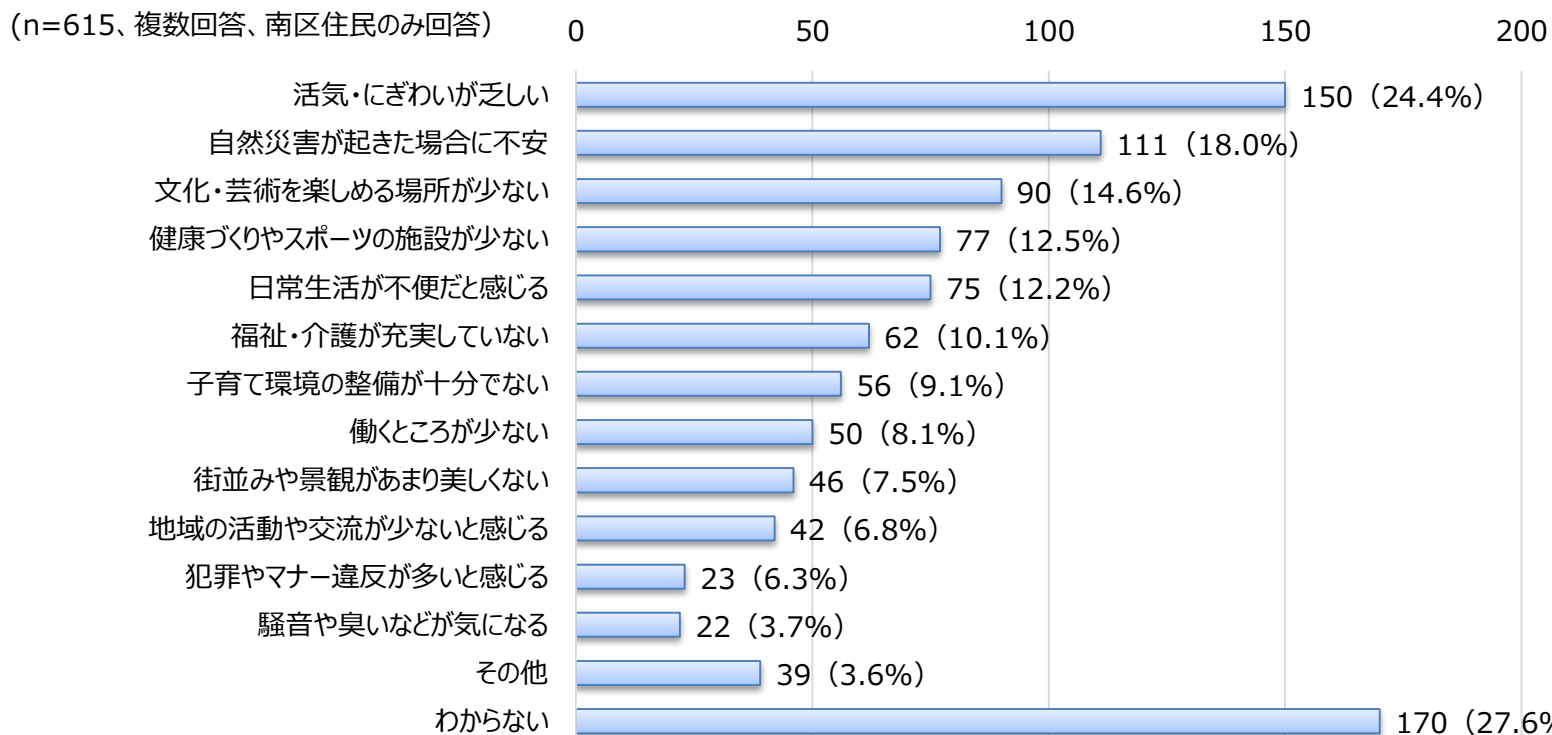


※（ ）は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答（抜粋）】

- 回復期を担う病床が充分にあること。
- 複数の病気を持つ中高年者を複数の専門医がチームで診療する機能を持つ病院。

■ 県立広島病院周辺の課題



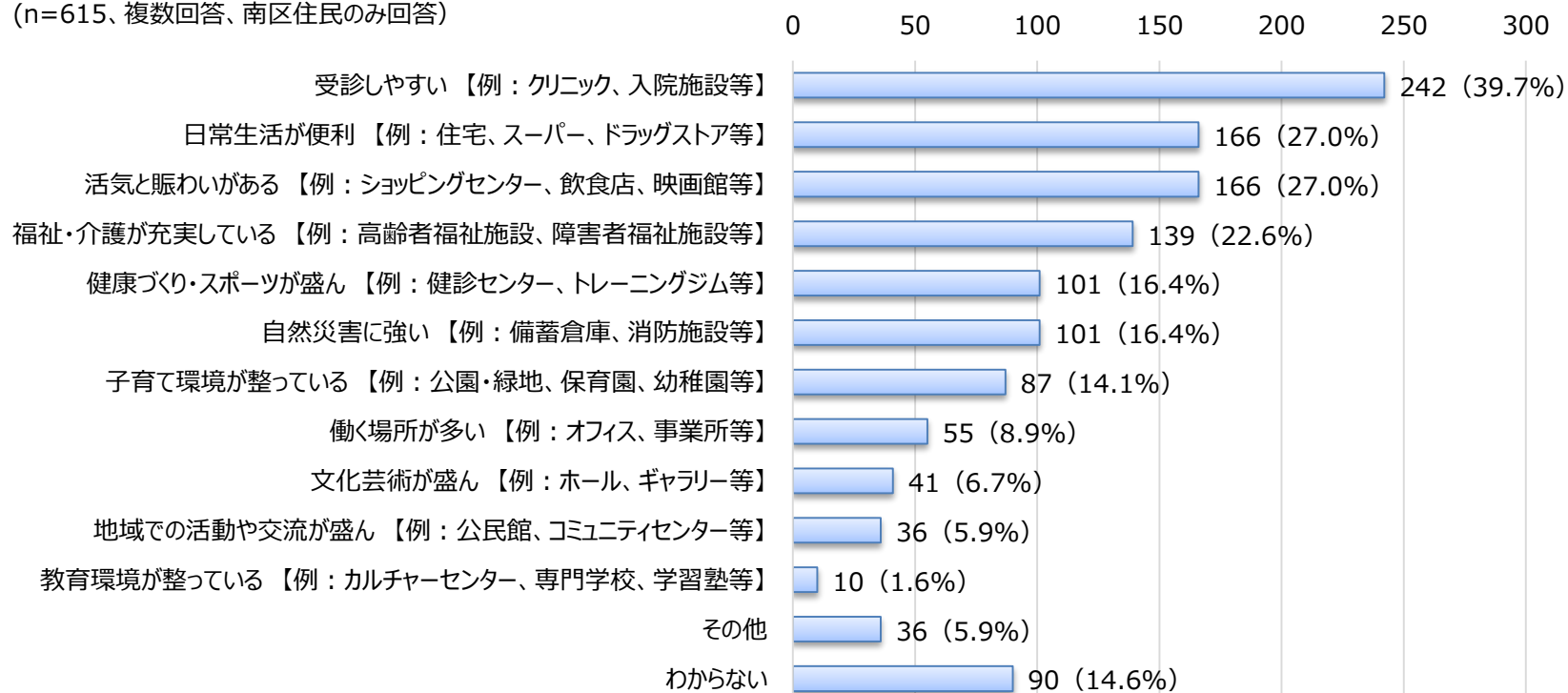
※ () は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答 (抜粋)】

- 景観や街並み、道路、ルートが昔から変わっていない。
- 幹線道路以外は狭く、消防や警察など通りにくい。

■ 将来の県立広島病院周辺に望む環境

(n=615、複数回答、南区住民のみ回答)



※ () は母数に対する回答数の割合を示す。

【その他の回答（抜粋）】

- 慢性疾患・リハビリの分院が欲しい。駅北まで行けない。
- 自然災害対応避難施設兼地域交流センター。

■ アンケート結果に対する有識者講評

広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学 久保 達彦 教授

- 医療のイメージとして、急性期医療に偏りがみられる。地域の高齢化や医療提供体制の機能分化を背景に重要性が増している回復期医療やかかりつけ医との連携も含め、医療へのアクセスを包括的に捉え、戦略的に議論していく必要がある。
- アンケートで聴かれた声として、現に県病院を受診している患者に継続的な医療が提供されていくことは特に重要である。
- その実現に向けて、かかりつけ医機能にも着目しつつ地区医師会を交えて十分に検討していく必要がある。

福山市立大学都市経営学部 渡邊 一成 教授

- 今後、県立広島病院がどのようになるのかというメッセージが、すべての県民に対しては、正しく理解されていないと思われる。
- 県立広島病院のある宇品地区は、商業施設やかかりつけとなるクリニックは充足していると考えられる一方、県立広島病院移転後は回復期の病院が不足するのではないかと懸念される。
- ついては、土地の活用方針としては、周辺に緑地が不足しているため、公園の中に医療機関がある健康や疾病予防をテーマとしたゾーンとするのが望ましい。



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

民間事業者からの意見

民間事業者へのサウンディング調査

民間事業者の視点から、自由かつ実現可能なアイデアを求めることを目的に、民間事業者へのサウンディング調査を実施した。民間事業者からの主な意見は以下のとおり。

導入機能

医療

- 病院
- 近隣の開業医や、今後開業を予定する医師と連携したクリニックモールなど、かかりつけ医療機関
- 調剤薬局のあるドラッグストア

医療以外

- 分譲マンション、戸建て住宅
- シニアレジデンス等の高齢者向け施設
- ドラッグストア、コンビニエンスストアなどの商業施設や住民利便施設
- 大学のサテライトキャンパスや専門学校、幼稚園・保育園などの教育関連施設
- スポーツジム等の健康増進施設
- カルチャーセンターやコミュニティセンターなど多世代又は地域交流機能

事業手法

- 大規模な土地であり、単一用途ではなく、複数の用途を組み合わせた複合開発・まちづくりとして取り組みたいとして、敷地全体を活用を期待する意見が多くあった
- 複合開発による価値向上の視点から、敷地全体の売却を希望する意見が多い
 - 住宅用途の場合、定期借地権による分譲が適さない市場環境であることから、土地売却の場合のみ対応可能
 - 住宅以外の用途では、土地を賃借して建物を整備する手法を提案する事業者もあり、多様なスキームの採用も検討が可能
- 職員用駐車場については、住宅としての活用ニーズが高く、病院敷地とは切り離れた活用検討が望ましい

参画意向

- 広島市内で大規模でまとまった土地は希少価値が高く、活用に対する期待の声が多数の民間事業者から確認できた



県立広島病院跡地活用の方向性（案）

<安心な暮らし>

- 対象地周辺において引き続き地域の方が安心して暮らし続けることができるよう、地域の医療機関との連携や高齢者等のアクセスを考慮した上で、必要な「医療」「介護」「福祉」サービスを受けられる体制を整える
- 大規模災害に備えるため、防災体制の充実強化を検討する

<活気あふれるまちづくり>

- 多様な世代が、いきいきと暮らし続けることができるよう、「賑わい」、「健康づくり」、「子育て」等の機能整備を検討する

⇒ 今後、跡地活用の実現に向けての検討を行う。

県立広島病院跡地活用の方向性（案）

